

【本部】先輩からのメッセージ

被害者援護業務

本部 被害者援護部 介護料グループ
スタッフ

2021年 入構



－入構の決め手を教えてください。

公共性の高い仕事に就きたいと考え就職活動を進める中で、ナスバを知りました。私の父親がトラックドライバーで、自動車事故が決して他人事ではなかったことから、事故の発生防止から被害者支援までを一体的に行っているナスバの業務に、大きな意義を感じました。

事故に遭われた方々だけでなく、運送事業に携わる方々のためにも、自動車事故ゼロの社会の実現に貢献したいと考え、入構を決意しました。

－業務内容を教えてください。

ナスバでは、自動車事故により重い後遺障害を負った方々を支えるため、さまざまな支援を行っています。

その中でも私は介護料(在宅介護にかかる費用)の支給に関する業務を担当しています。現在、ナスバの介護料を受給されている方は全国で約4,500人ほどおり、その方々を取り巻く制度や生活環境はお一人おひとり異なります。

そうした状況を踏まえて、適切な支援につながるよう、日々業務の見直しを行いながら、全国の担当者から寄せられる意見も取り入れながら、支給方針や業務で使用するシステムの改善に取り組んでいます。

－職場の雰囲気をどのように感じますか。

なんといっても優しい方が多く、風通しの良い職場だと感じています。先輩方だけでなく、後輩のみんなにも気軽に相談できる雰囲気があります。

ナスバの業務内容は多岐にわたりますが、年次や立場、時には担当業務の垣根を越えて意見を聞くことができるため、業務への理解も深まりやすいと感じます。一人で抱え込むことなく、周囲と連携しながら仕事を進めることができる環境で、安心して働ける場所です。



－どんな時にやりがいを感じますか。

介護料の支給業務には、後遺障害を負った方々をはじめ、さまざまな制度に対して理解を深める必要があるため、知識や判断力が求められます。そういった中で、各主管支所の意見を取り入れながら一つひとつ理解を深められたときに自分自身の成長を感じ、やりがいを感じています。

現在の担当している部署では、介護料を受給している方々と直接お話しする機会は多くありませんが、各主管支所の担当者を通じてお礼の言葉をいただくこともあり、自分の仕事が誰かの支えになっていることを実感できるのもやりがいにつながっています。



めざすのは、
自動車事故ゼロの社会。

－今後の目標を教えてください。

ナスバは、自動車事故の防止や被害者支援に加え、安全性能の高いクルマに関する情報提供を行うなど、幅広い業務を担っています。

現在、私は被害者支援を担当していますが、今後どの業務を担当することになったとしても、周りから頼ってもらえるような存在になりたいです。

ナスバが「安全・安心・快適な社会づくりに貢献する組織であり続ける」ために、自分にできることを一つひとつ積み重ねていきたいと考えています。

－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

公共性の高い仕事や、より良い社会を実現したいという思いを持つ方にとって、ナスバはやりがいのある職場だと思います。

専門性の高い業務も多く、ホームページやパンフレットを見て「自分にできるだろうか」と不安を感じる方もいるかもしれませんが、私自身も入構当初は分からないことだらけでしたが、優しい先輩方が一から丁寧に教えてくださり、少しずつ業務に慣れていくことができました。困ったときには気軽に相談できる環境が整っているので、少しでも興味を持った方は、ぜひ一歩踏み出してみてください。

皆さんとお会いできる日を、心から楽しみにしています！

<自己紹介>

休日は、飼い猫と遊んだり、のんびり過ごしたりすることが多いですが、好きなアーティストのライブや全国各地の音楽フェスに参加するのも好きです！

ナスバでは、先輩方や後輩のみんなから全国各地の美味しいものやおすすめスポットを教えてもらえる機会が多いので、社会人になってから新たに好きになったこともたくさんあります。

これからも新しいことに触れながら、多くの経験を大切にしていきたいです。

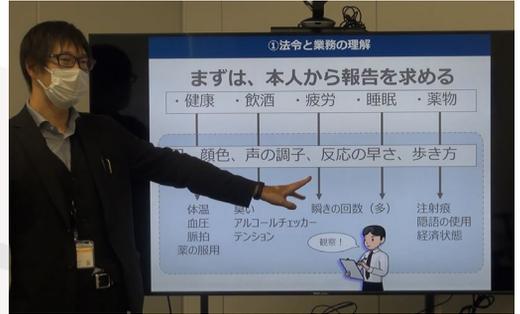


【本部】先輩からのメッセージ

安全指導業務

安全指導部 安マネ・ISO・評価Gチーフ

2011年 入構



－入構の決め手を教えてください。

大学生活を仙台で過ごしていた時、東日本大震災に被災し、日常があっけなく崩れていく様を目の当たりにしました。その後、就職活動に追われる中で、ある日友人との何気ない会話から、子供の頃に交通事故で友人を亡くした経験が想起され、「災害だけでなく、交通事故もまた、ある日突然多くの人の日常を一変させてしまうのではないか」「災害は減らせなくとも、事故を起こすことは防げるのでは」と思い立ったことが、ナスバを志望した一番の決め手でした。

－業務内容を教えてください。

事故を防ぐための安全指導業務を中心に勤めてきましたが、今の主要業務は「運輸安全マネジメント評価」です。

社長を始めとした「経営や安全を管理する側」の皆様へインタビューを行い、「現場のドライバー・管理者」が「より安全が守りやすくなるように、会社として何をしていくか」のアドバイスを取りまとめた報告書をお渡しすることで、会社が一丸となって安全を守れるようなお手伝いをすることが目的となります。

－職場の雰囲気をごどのように感じますか。

気軽に冗談も言い合える、風通しの良い環境ではありますが、組織のタグラインである「めざすのは、自動車事故ゼロの社会。」の実現に向け、自分たちが更に社会の役に立つためにどうしていくかを真剣に考え、引き締める時は引き締めながら、日々一丸となって頑張っています。

もちろん、それで自分をすり減らしてしまっては本末転倒ですので、やる時はやる、気を抜くときは抜く、と、うまく切り替えて頑張れる職場ですね。

－どんな時にやりがいを感じますか。

今の業務で求められる役割は、「社長たちの話をしっかり聞いて、悩み・課題の改善に向けたアドバイスをする」と「アドバイスを限られた時間の中で報告書に取りまとめること」なので、相手あつての仕事となります。

ですので、相手から「自分たちの課題に気づけた」という感謝のお声や、「分かり易く、必要十分な情報がつまった報告書だった」という評価をいただき、会社が少しでも前に進むような役に立てることが一番のやりがいです。



めざすのは、
自動車事故ゼロの社会。

－今後の目標を教えてください。

大きく分けると、「成長」と「挑戦」です。

社長たちの話を聴く上では、自分の知識の継続的なアップデートも必要ですし、聴くスキルや伝えるスキルなど、複数のスキルが求められますので、日々の業務の中で自分自身を内省し、「成長」に繋げていきたいと思っています。

他方、同じことばかりを繰り返しては「成長」はないため、今の自分の殻を破るような「挑戦」も必要となります。例えば私の場合は、業務の一環として、現在事故防止のコラムを連載していますが、今までのナスバでは類を見ない業務でも、積極的に挑んでいきたいと思っています。

－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

ナスバには、安全指導業務だけでなく、被害者支援や自動車の安全性の試験など、様々な仕事がありますが、いずれにも共通するのが「社会に貢献できること」です。

そのため職員には、「社会に貢献できる人材であること」が求められますが、私個人はその人材足る人物像を、「考えて、行動できる人間」と捉えています。

例え今の仕事が直接的に相手のある仕事でなかったとしても、「少しでもよくするためにはどうすればいいか」を考え、実際に行動に移していくことで、自分でも知らないうちに誰かの役に立つことが出てきます。

そんな人と一緒に働くことが出来て、私自身が思いもしなかった発見ができること、一緒に成長できることを楽しみにしています。

<自己紹介>

ちょうどコロナ禍の真ただ中に東京へ転勤となったので、どこにも出かけられずに愛車がさみしい思いをしていました。

代わりに、ダイエットの一環としてウォーキングにハマり、毎週末の習慣にしたところ、劇的な減量に成功し、会う人会う人に驚いてもらうことを楽しみにしていました。

ところがその後、気づけばすっかりリバウンドしてしまいました。目下の悩みは、いかに前の体型に戻すか、というところです。



Before

After

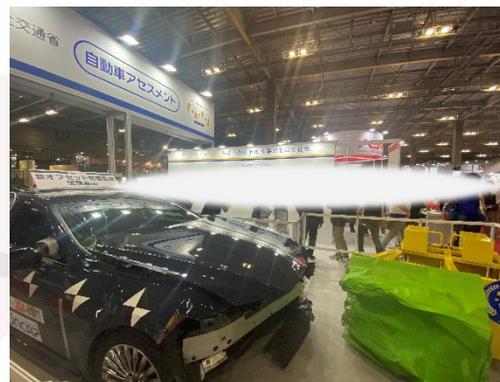


【本部】先輩からのメッセージ

自動車アセスメント業務

自動車アセスメント部 チーフ

2018年 入構



－入構の決め手を教えてください。

私は新卒から1年半ほど別の会社で仕事をしていました。前職を退職することに決められた時は、全く別の業界に行ってみようという思いだけを持って転職活動を始めました。

ナスバのことを知ったのは、様々な企業の採用情報を調べていた際に、たまたま目に入ったその名前が印象深かったため、少し調べてみるかと思った事がきっかけです。調べると業務内容に社会的意義があると感じ、それが自分のやりがいに繋がるのではないかと思い採用試験を受けました。

－業務内容を教えてください。

現在、自動車アセスメント業務に従事しています。自動車アセスメントは、自動車及びチャイルドシートの安全性能を評価して公表することで、自動車ユーザーの皆様がより安全な自動車等を選ぶことができるように、それらを作るメーカーにはより安全な自動車等の開発を促進していただくことによって、安全な自動車等の普及促進を目的としている事業です。

部署の中での業務としては、評価をするための試験が正しく実施されるように管理することや、各試験を実施した後は評価結果をホームページで公表すること等です。



－職場の雰囲気をごどのように感じますか。

ナスバ全体の雰囲気として、チームの目標達成のために皆で協力し合うことができる職場だと感じています。全国様々な場所で、色々な経験を積んだ職員の方々が揃っていますので、何か助けが必要になった際、先輩後輩関係なくお互いにこれまでの知識や経験からサポートをして助け合うような雰囲気ができていると感じています。

－どんな時にやりがいを感じますか。

自動車アセスメントの取り組みは、ただ公表しているだけでは意味がなく、自動車やチャイルドシートを使う方々に広く知っていただく必要があります。自動車アセスメントだけに限らず、ナスバの取り組みを多くの方に知っていただけるように、様々なイベントへのブース出展などを通して広報活動をするのもナスバ職員の業務の1つです。

イベントに来場されたお客さんに説明をさせていただいた後、「こんなに大切な事をやっている組織なんですね。」「自動車アセスメントの結果を参考にしてみます。」などの言葉をいただくと、日々の業務が誰かの役にたっているのかもと感じることができ、やりがいになります。



めざすのは、
自動車事故ゼロの社会。

－今後の目標を教えてください。

自動車アセスメントはまだ認知度が低いのが現状です。自動車アセスメントが多くの方に伝わるために、現状の発信の方法に見直すべき点はないか、効果的な新しい方法はないかなど、日頃から模索し自ら提案していくことで、認知度向上の一助となれるように業務に取り組んでいきます。

－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

ナスバは色々な経験をすることができる職場です。今漠然と誰かの役に立つ仕事がしたいと思っているけど、何をやりたいのか具体的にはわかっていないんですという方であっても、きっと自分がやりがいがあると思えることや、楽しいと思える事が1つは見つかる職場だと思います。そういった事が1つでもあれば日々の仕事を頑張れるかもしれません。

皆さんの先輩になるかもしれない方達は、きっと皆さんの気持ちに寄り添ってサポートしてくれると思います。一緒にナスバで働ける日を楽しみにしています。

<自己紹介>

家には猫の兄弟がいます。休日は好きなアニメや総合格闘技の試合をスマホで見ながら、猫と一緒にゴロゴロ過ごすことが多いです。動物からしか得られない栄養があると思っているので、いつも元気にさせてくれる存在です。



【本部】先輩からのメッセージ

企画・広報業務

本部 企画・広報部 チーフ

2016年 入構



－入構の決め手を教えてください。

私がナスバを知ったのは、就職活動の時でした。「社会的に意義のある仕事」に就くという観点で就活に取り組む中で、自動車事故の防止から被害者支援まで一体的に取り組むナスバの存在を知りました。

当時は自動車アセスメント(NCAP)という言葉に聞き馴染みはありませんでしたが、自動車の性能の最先端の技術を知れること、Global NCAPの一員として、世界会議に参加し、国際的な繋がりがあることにも魅力を感じ入構を決意しました。

－業務内容を教えてください。

入社からしばらくは、安全指導業務に携わっていました。現場では、自動車の運転者に対する適性診断や運送事業者の運行管理者に対する指導講習として、講義を行い、本部では、全国の適性診断機器のトラブル対応等を行っていました。

次に自動車アセスメント業務では、安全性能評価試験の立会から結果の取り纏め、公表までの一連の流れを車種ごとに行うとともに、Global NCAPの世界会議にも参加しました。

そして、現在の企画・広報部業務。ナスバが実施する事業の長期的・短期的な計画の策定から、業務実績の取り纏め、ナスバの認知度向上に向けた広報業務を行っています。



－職場の雰囲気をどのように感じますか。

風通しが良く、自分の意見が言いやすい職場だと思います。仮に自分の意見が突拍子もないものだったとしても、全否定されることなく、面白がってくれるようなアットホームな雰囲気があります。なので、「自分の考えを言葉にできる」人がたくさんいる職場環境です。

－どんな時にやりがいを感じますか。

私が仕事でやりがいを感じるのは、自分の取り組みが形になった瞬間です。直近では、広報業務の施策としてマスコットキャラクター「ナスバちゃん」を活用し、アニメーション動画や特設サイトの制作を担当しました。YouTubeに動画を公開した時や、サイトが無事にオープンした時には、世の中に発信された実感とともに大きな達成感を得られました。

また、イベント会場では「ナスバちゃんのファンです!」「ナスバちゃんに会いに来ました!」と声を掛けていただくこともあります。キャラクターデザインに携わった者として、こんなふうに愛着を持っていただけるのは本当に嬉しく、励みになっています。



めざすのは、
自動車事故ゼロの社会。

－今後の目標を教えてください。

今後の目標は「ナスバ=事故対策の組織」と認知されることです。残念ながら現時点では、ナスバの世間的な認知度はまだ高いとは言えません。

しかし、認知度が上がれば、私たちの発信に耳を傾けてくれる人が増え、それは「自動車事故を起こさない・起こさせない」という意識の広がりへ繋がると考えています。そのために、SNSの活用など、時代に合った広報の方法を積極的に模索しながら、より多くの方にナスバという素晴らしい組織があることを知ってもらいたいと思っています。

－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

「自動車事故を減らしたい」

この想いに少しでも共感してくれる方を、ナスバはあたたかく歓迎します。

最初から大きな目標を持っていなくても大丈夫です。日々の仕事を通じて、自然と「自分は何を大切に、どんなふうに仕事をしたいのか」が見えてきます。

そして、「挑戦してみたい」と思えた時には、その気持ちを安心して形にできる環境がナスバにはあります。

皆さんと一緒にお仕事ができる日を、心から楽しみにしています！

<自己紹介>

所属：企画・広報部

出身：埼玉県

趣味は、旅行、カフェ巡り、ライブに行くこと！

年に1回の海外旅行を目標に日々の仕事を頑張っています。
昨年は、エジプトに行ってきました。

また、カフェ巡りも大好きで、友達と東京都内のカフェを
開拓しています。

興味がある方は、声を掛けてください♪



【本部】先輩からのメッセージ

人事業務

本部 総務部 スタッフ

2024年 入構



↑ 内定者職場体験の様子

－入構の決め手を教えてください。

2019年に池袋で発生した高齢ドライバーによる暴走事故をきっかけに、自動車事故は誰の日常にも起こり得る社会的な課題であると意識するようになりました。その問題意識から、大学では刑事政策のゼミに所属し、自動車事故防止のあり方について研究を行いました。

大学での学びを通じて、自動車は多くの人にとって生活に欠かせない存在である一方で、事故という負の側面を抱えており、その課題に向き合っていく必要があると思いました。

こうした経験から、事故を未然に防ぐ取り組みと、被害に遭われた方への支援を両立させることの重要性を実感し、その両面から社会の安全に貢献しているナスバの取組に魅力を感じ、入構を決めました。

－業務内容を教えてください。

入構から2年となる現在まで、人事グループに所属し、人事業務に携わっています。採用関係業務をはじめ、非常勤職員の給与や福利厚生に関する業務など、人事グループでしか経験できない幅広い業務に関わっています。日々の業務の中で学ぶことも多く、上司や先輩に相談しながら、一つ一つの業務に取り組んでいます。

また、職員の方々とやり取りをする機会も多く、人との関わりを大切にしながら、組織を支える仕事にやりがいを感じています。

－職場の雰囲気をどのように感じますか。

全体的に活気があり、とても明るい雰囲気の職場だと感じています。私が所属している総務部では、困りごとがあれば先輩や上司に相談しやすく、業務の話だけでなく、適度に雑談も交えながら仕事ができる環境があります。

日頃から、報告・連絡・相談を大切にしている雰囲気があり、安心して働ける職場だと思います。



↑ 国土交通省で開催された「こども霞が関見学デー」の様子

－どんな時にやりがいを感じますか。

人事業務の中でも、特にやりがいを感じているのが採用関係の業務です。職員の募集から採用まで一連の流れに関わらせていただいています。

採用面接では司会を担当するなど、一人ひとりの人生の大切な場面に立ち合っていることに責任とやりがいを感じています。採用面接やその後の新規採用職員研修を通じて関わった方々が、職員として働き始め、同じ組織で共に成長していくことができるのはとても嬉しいです。



めざすのは、
自動車事故ゼロの社会。

－今後の目標を教えてください。

今後の目標は、ナスバという組織やその取組について、より多くの方に知っていただくことです。自動車事故の防止や被害者支援など、ナスバが行っている事業は皆さんの生活に深く関わるものですが、ナスバが十分に知られていないことで、必要な支援につながらない場合もあると思います。そうした方が少しでも減るよう、ナスバの事業の意義や役割を伝えていくことが、大切だと考えています。そのために、まずは職員である自分自身がナスバの業務に誇りを持ち、日々の業務に真摯に取り組みながら、学びを深めていきたいです。

一つ一つの業務を大切にすることが、結果としてナスバへの理解や信頼につながると考えています。

－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

ナスバの仕事は、自動車事故の未然防止や被害者支援など、すぐに成果が表われるものばかりではありませんが、社会にとって欠かせない役割を担っています。

私自身、「社会に貢献できる仕事がしたい」という思いを軸に就職活動をする中で、ナスバの取組に出会いました。社会の安全や安心を支えるという点で、ナスバの仕事は公的な役割を感じられると思います。

社会を支える仕事に責任と意義を感じながら取り組みたい方に、ナスバという選択肢を知っていただけたら嬉しいです。

<自己紹介>

お菓子作りが趣味で、休日にはシュークリームやマカロンなどを作り、家族と一緒に食べる時間を楽しんでいます。また、動物や自然も好きなので、旅行先で偶然見かけた猫や鳥に癒されたり、夕日や星空を眺めながら、あっという間に時間が流れていることも多いです。

